



まんなかに愛のあるまち
CHiNO
茅野市

i-都市再生の活用に向けて

～まんなかに愛がある茅野市での活用事例～

長野県茅野市都市計画課

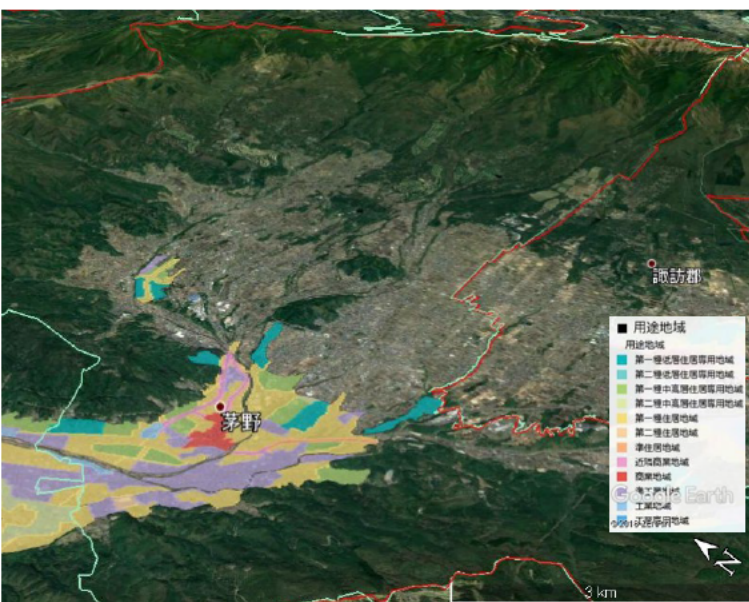
1. とにかく活用してみる（実践）

○長野県都市・まちづくり課～茅野市都市計画事業について～

○国土交通省関東地方整備局建政部都市整備課～茅野市立地適正化計画ヒアリング～

事業説明の前置きとして、
用途地域や人口分布を可視化！

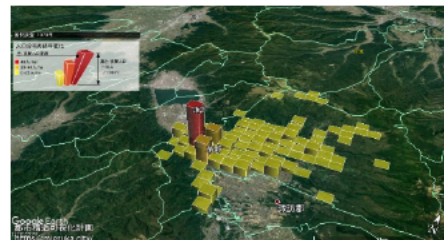
・都市計画図を広げても用途地域がイメージができない
・人口推計のグラフを見てもイメージができない



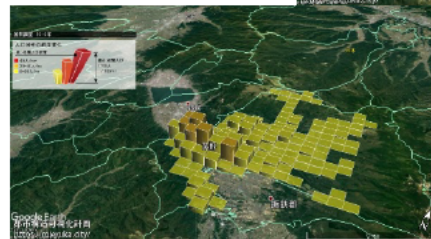
都市計画区域の1割に満たない用途地域

i-都市再生自治体等交流会議

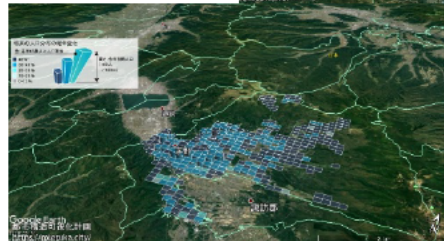
一目瞭然！！



1970年



2015年



2060年



まんなかに愛のあるまち
CHINO
茅野市

2. 庁内での横断的な活用の検討

庁内での横断的な活用を検討するため、若手職員約60人に対し人口分布の経年変化や洪水浸水想定区域などを3Dマウスを使って紹介しました。また、都市構造可視化サイトを紹介し、他部署で活用できる事例がないか模索しました。



活用方法

- 住民説明会での活用（政策を説明する際には特に有効では）
→客観的な可視化データにより説得力が向上⇒決定プロセスの迅速化
- 道路舗装カ所の経年変化＋交通量とのリンク
- 上下水道の経年変化（GISデータは既にあり）
- 人口分布を基に公共施設の統廃合の説明（保育園や学校など）
- 山岳エリアでの遭難多発区域の見える化（ハザードエリアの見える化）
- 保険医療福祉分野での活用**⇒医療費・介護費の適正化に向けて



課題・要望

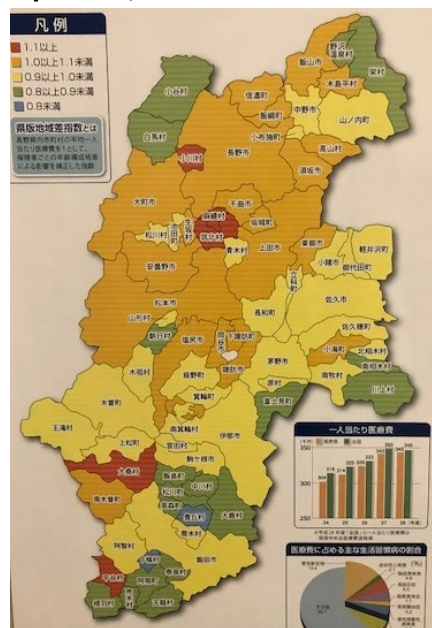
- ネット環境がないと難しい
- GISソフトとの差別化
- 庁内全体での活用を考えた場合、情報セキュリティの課題が残る
- 情報の更新頻度

3. 保険医療福祉分野での活用の模索（保健師からの提案）

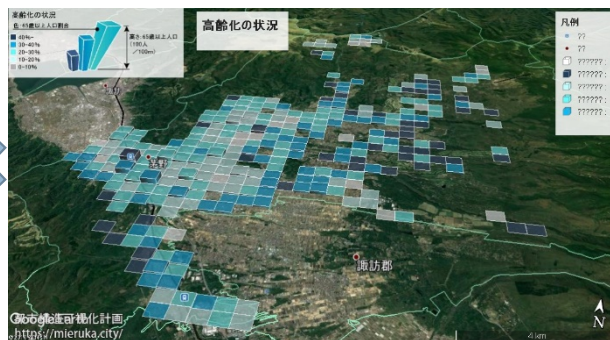
～人生100年時代を見据えて～

都市構造可視化データを活用し、茅野市の特徴を踏まえた持続可能なまちづくりの推進を検討してみました。健康について視覚的に伝え、医療費と介護費の適正化を目指します。

イメージ



長野県医療費マップ



高齢化の状況



将来人口推計

◆可視化データ(案)

- 健診の受診率
- 地域ごとの医療費
- 生活習慣病患者数
- 介護認定数
- 医療機関受診者数etc



◆見える化のメリット

- 地域特有の健康課題が分かる
- 予防するエリアや地域ごとの疾患の特定できる
- 高齢者分布図や将来推計人口分布図との重ね合わせにより、効果的に健康リスクを周知できる
- 経年変化のアニメーションにより生活習慣病の増加など時代ごと健康変化が読み取れる

茅野市の中でも地域毎の違いが明確にある

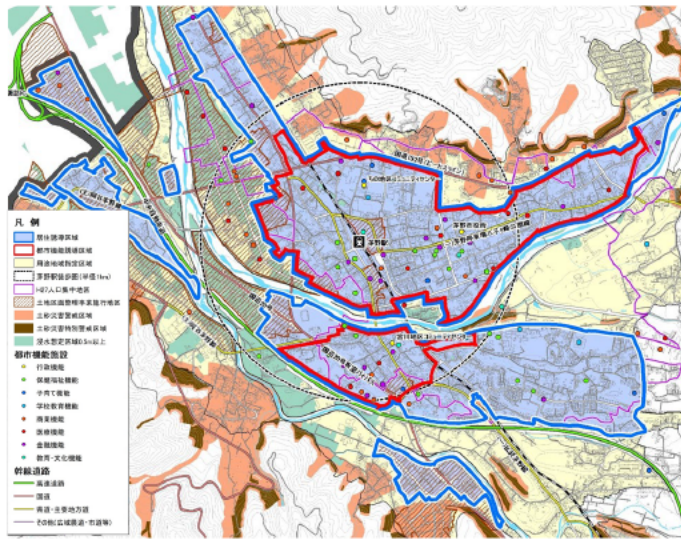
◆見える化の効果

- ❗ 特定健診受診率・保健指導率の向上
- ⇒ 視覚にうったえ、後天的な予防できる病気を防ぐ
- ❗ 医療費と介護費の適正化

4.立地適正化計画策定に向けた、可視化の活用

茅野市では、2019年3月に立地適正化計画を公表予定です。急激な人口減少社会に対応するため、茅野市においても「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えのもと誘導区域の設定を進めています。

茅野市：立適誘導区域設定範囲



茅野市都市計画審議会での誘導区域設定の説明

都市構造可視化データの活用により、容易に用途地域のエリアに対しどのように居住誘導区域を設定し、都市機能誘導を行ったか説明ができた

例) 居住誘導区域の可視化データ



例) 居住誘導区域の中に設定された、都市機能誘導区域の可視化データ



簡単に重ねることも可能



5. 都市計画道路整備事業での活用の検討

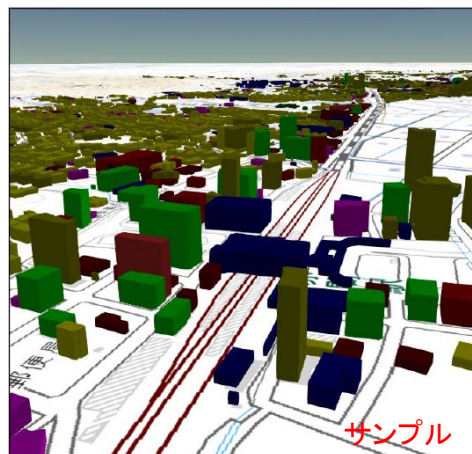
都市計画道路を整備する際に、道路事業として道路に特化(道路整備)するのではなく、沿線から広がるまちづくりを実践するためのツールとして、活用を検討しています。



茅野市の中心市街地を縦貫する未整備の都市計画道路について、計画位置を県道にシフトさせた上で、賑わいが失われつつある街並み整備を検討しています。

まちなかには単独で有効活用することができず、そのままの状態となった空き地や空き家が散在しています。まちなかの拠点形成を図る場合、スポット的に空き地等を集約化し、地域の核となるようなエリアを生み出し賑わいの創出ができないか検討しています。

図 建物の用途による色塗り3次元表示



◆期待される効果

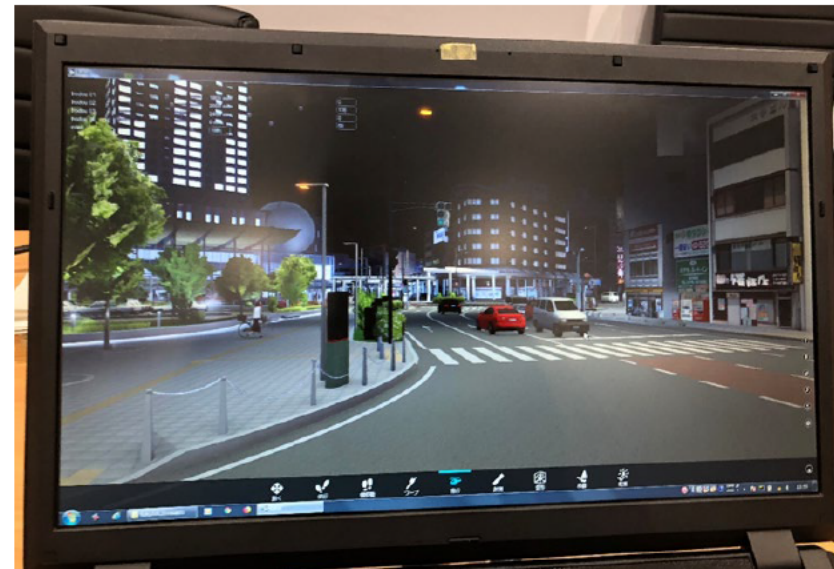
- ！都市計画基礎調査のデータを可視化することで、地域ごとの詳細な土地・建物利用が見える化することができる
- ！まちづくりを実践する域の空間的な把握が見える化することで、住民や権利者へ分かりやすく示すことができる

有力な合意形成ツール

6. 今後のi-都市再生の活用の模索～VR技術の活用～



計画中の茅野駅西口駅前広場再編事業でのVR技術の活用



VR技術を活用した空間表現により、現況の街並みを立体化し、昼夜の変化や季節の変化、道路幅員の変更をPC上で操作することを検討しています

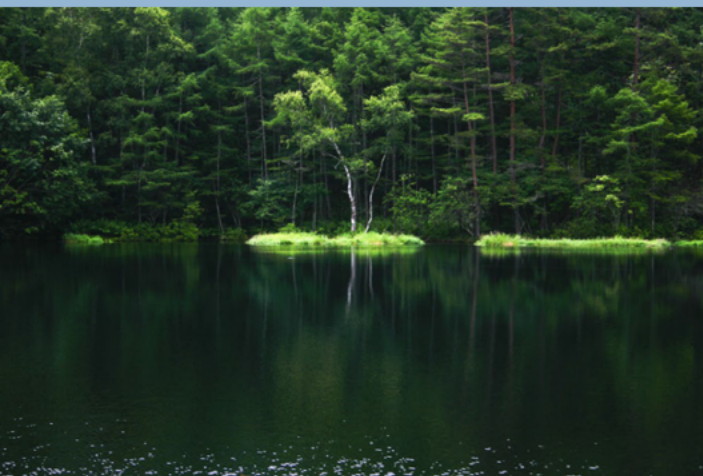
【まとめ】

- ・ まちづくりの課題や効果、将来像を分かりやすく地域住民や関係者へ説明するためのツール
- ・ 様々な分野で活用の可能性を秘めており、引き続き横断的な活用の模索が求められる

i-都市再生の構築により、地域の特性・特徴を活かしたまちづくりの実践ができ、同時に円滑な合意形成を図ることが期待できる



八ヶ岳連峰



御射鹿池



風除けの松

長野県茅野市役所都市計画課